



2022.1.27.

報道関係各位

東京ニットファッション工業組合

Press Release

## “語りはじめたファクトリー TOKYO KNIT STORY” 東京ニットファッション工業組合が 総合展を渋谷ヒカリエにて開催

東京ニットファッション工業組合（以下、TKF ※1）では、平成 29 年度より東京都特別支援「チャンスをつかもう 2020 プロジェクト」（※2）を得て、「TOKYO KNIT」ブランドを構築し、品質と技術を保証するブランド認証制度（※3）を導入するなど、ニット産地としての東京の付加価値向上に取り組んでまいりました。

### 「TOKYO KNIT 総合展 2022」

これまで OEM/ODM を中心にものづくりを行い、消費者に直接発信することが少なく、裏方で縁の下の力持ち的存在であった TOKYO KNIT の認証企業ですが、2021 年度は「語り始めたファクトリー TOKYO KNIT STORY」をテーマに、自らのブランドを立ち上げ D2C への挑戦を強化したり、SNS で工場の特徴などの情報発信を始めたりと、ものづくりの立場から、消費者も含めた様々な人たちに向けた取り組みを実施してまいりました。

これらの活動の集大成として、2022 年 2 月 24 日（木）～26 日（土）の 3 日間、「TOKYO KNIT 総合展 2022」を開催いたします（入場無料）。

本展では、認証企業によるオリジナルのファクトリーブランドや、その高い技術によりデザイナーを支えるデザイナーコラボレーションがご覧頂けます。また、OEM/ODM や、染色、プリント、テキスタイル、糸、付属品など、日本のものづくりを支える認証企業本来の活動についても、製品や動画を通じて、体感頂ける内容となっています。

2 月 26 日には糸編代表・宮浦晋哉様を司会に、SOMARTA デザイナー・廣川玉枝様、WWD ジャパン編集長・村上要様をゲストにお迎えし、トークショーを開催いたします（ライブ配信予定）。

開催日：2022 年 2 月 24 日（木）16：00 - 18：00 ※メディア・関係者向け限定

2022 年 2 月 25 日（金）11：00 - 19：00

2022 年 2 月 26 日（土）11：00 - 18：00 ※16：30～トークショー開催

場所：渋谷ヒカリエ「COURT&CUBE」（東京都渋谷区渋谷 3-21-1 8F）



#### ◆TOKYO KNIT YouTube Channel

TOKYO KNIT では「語りはじめたファクトリー TOKYO KNIT STORY」と題し、参画企業の取り組みを取材編集した動画を、公式 YouTube チャンネル『TOKYO KNIT OFFICIAL』にて配信開始しました。

「企業・工場紹介編」、「オリジナルブランド紹介編」、「特別編」、「総集編」という構成で、2022年2月末まで、全24話を発信予定です。1月24日現在9話アップしております。

取材編集などの制作および発信には、株式会社糸編（代表 宮浦晋哉）を起用。宮浦代表は「産地の学校」や「オールニットニッポン」など、日本の繊維産地の情報発信に積極的に携わってきた経験や知見を活かして、TOKYO KNIT 認証企業の「語り」を上手く引き出してくれています。

URL : <https://www.youtube.com/channel/UckVWslTXUqqk6Pui6yUA9vA>

参画企業：株式会社アシダニット※

有限会社アートランド※

伊東メリヤス工業株式会社

大石メリヤス株式会社※

株式会社小倉メリヤス製造所※

有限会社オフィスホドタ

株式会社川合染工場※

キップス株式会社※

有限会社紀南莫大小工場

佐藤莫大小株式会社

株式会社ズーム※

株式会社大染

株式会社谷繊維

中橋莫大小株式会社※

株式会社沼尻テキスタイル研究所

阪和株式会社

樋口繊維工業株式会社

フジサキテキスタイル株式会社※

増見哲株式会社

株式会社マルチョウ

丸和繊維工業株式会社

株式会社 和興

<五十音順> ※ = すでに YouTube 公開済み



◆語りはじめたファクトリー TOKYO KNIT STORY



# 語りはじめたファクトリー TOKYO KNIT STORY

語りたい、私たちの言葉で。

一着の服づくりにこめた想いを。  
TOKYO発の世界ブランドとして、  
私たちが始めているアクションを。

語り続けよう、その想いを。

服を愛するすべての人と分かち合うために。  
未来に続くファクトリーとして、  
確かなものづくりで社会とつながっていくために。

一つ一つのファクトリーが  
自らの言葉で語りながら、  
未来を編んでいく。TOKYO KNIT



## 語りはじめたファクトリー TOKYO KNIT STORY

TOKYO KNITの新しい取り組みが始まります。  
これまで、日本のニットファッションを支えるファクトリーとして  
顔を出さない存在だった私たち。  
今日からは東京のニットの価値を世界に発信する企業として  
自らの服づくりに込めた想いを、自らの言葉で語りたいと思います。

一つ一つのファクトリーが大切にしている服づくりへの情熱。  
長い時間の中で受け継がれてきた伝統。  
上質を究めるための多くのこだわり。  
新しい挑戦から生まれるイノベーション。  
一社一社の言葉が積み重なる先に、私たちの目指す未来がある。

私たちは自分たちのファッションへの想いを  
自らの言葉で語ることから、新しい物語を編んでいきます。  
これからの社会と環境に優しい服づくりのために  
私たちに何ができるかを語り合いながら、  
新しいアクションを起こしていきます。

ニットを愛する多くの人々とながっていくために。  
TOKYO発の世界ブランドになるために。

未来を編んでいく。TOKYO KNIT

<語りはじめたファクトリー TOKYO KNIT STORY Long version>

これらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-81DJDt7twm>



## ◆TOKYO KNIT について

東京にしか創れないニットの未来を世界に発信する、それが私たちのミッションです。

TOKYO KNIT は、東京の東部、墨田区本所界隈を中心に事業を展開しているニットファッション製造事業者が、次なる時代のファッション産業のあり方を目指す、新しいものづくりのプラットフォームです。

東京のニット産業の歴史は江戸時代に遡ります。鎖国状態にあった日本は、必要な物資の多くを国内生産に頼る必要があり、戦国時代の終焉とともに訪れた泰平のなかで、武士は刀を捨て、新たな仕事に従事することを迫られました。江戸東部に住んでいた武士は、手編みにより靴下や下着といったメリヤス製品を作るようになり、それが徐々に進化し、明治時代の殖産興業政策により、この地はニット産業発祥の地となったのです。

戦後、ファッション文化の中心となった東京には、多くのデザイナーがアトリエを構え、流通、小売業者も急増。さらに 1970 年代以降には、東京発のデザインが世界でも高く評価されるようになり、東京のニットメーカーはカジュアルからハイファッションまで、幅広いクリエイションに携わることになりました。東京のニット産業には、歴史と経験に基づく確かな技術力とともに、世界を刺激し続ける東京ファッション独自の創造力を支えるフレキシブルな思想が根付いているのです。

(<http://www.tokyoknit.jp/>)

### (※1) 東京ニットファッション工業組合

ニット生地ならびに製品の製造業を営む中小企業の経営の改善発展、安定、合理化を図ることを目的とし、昭和 24 年に中小企業等協同組合法のもと、正式に法人格を持つ団体として発足。昭和 61 年に現在の名称である「東京ニットファッション工業組合」と改称、現在約 200 社の組合員を擁する組織。( <http://www.tkf.or.jp/> )

### (※2) 東京都特別支援「チャンスをつかもう 2020 プロジェクト」

各業界における中小企業団体等または中小企業グループが団結して取り組む、業界の活性化に向けた共同事業に対し、人的・財政的支援をすることで、業界等の発展を図っていく東京都の事業。平成 29 年度から業界再生や活性化のモデルケースとなる先進・成功事例を創出するための特別支援を実施。2021 年度は「東京都中小企業団体中央会 特別支援 新しい日常対応型業界活性化プロジェクト」として実施されています。

### (※3) TOKYO KNIT ブランド認証制度

東京ニットファッション工業組合では、「技術のブランド化」をテーマに、組合員企業の中で、一定の認証基準を満たす企業を、有識者による認証審査委員会（水野誠一委員長）の審査により『TOKYO KNIT』ブランドの認証企業」として認証しています。現在、認証されているのは 34 社。認証企業の一覧については、別添の「TOKYO KNIT ブランドブック」 「認証企業一覧表」 およびブランドサイト ([www.tokyoknit.jp/](http://www.tokyoknit.jp/)) をご参照ください。



◆お問合せ先

取材等に関するご依頼・お問い合わせは、下記までお願い致します。

[contact@tokyoknit.jp](mailto:contact@tokyoknit.jp)

株式会社コスモ・コミュニケーションズ

原 延之

Tel:03-3405-8137

Mail:nobuyuki.hara@comnet.co.jp